

# 夢みるこども基金だより

17  
NO.

## 「私の気持ちを分かってくれるパートナー」

夢みるこども基金は、昨年10月に九州盲導犬協会に盲導犬を寄付し、福岡市博多区上牟田の河口まき子さん(56)に貸与されました。ラブラドル・レトリバー牝で「はっくん3号」(通称はウエンテイ)と命名されました。そのユーザーさんである河口さんには、夢みるこどもキャンペーンの作文・絵コンクール表彰式に来賓としてお越しいただき、表彰式直前の忙しい中でインタビューを受けて頂きました。

堀江健一郎(福岡県立城南高3年、夢みるこども基金実行委員)

### はっくん3号誕生

**堀江**：はっくんと一緒に生活するようになって日常生活が変わった事はありませんか？

**河口**：はっくんのお世話をする時間ができたことです。お互いのコミュニケーションを深める上で大切な時間なのです。共に過ごすようになるので、毎日が楽しくなりました。

**堀江**：はっくん3号はどんな性格ですか？

**河口**：おっとりしていますが、仕事ぶりはいたって真面目です。

**堀江**：河口さんの穏やかなお人柄が、そのまま写ったのですかね。ところで、河口さんとは日々どのようなコミュニケーションをとっているのですか？

**河口**：私は目が見えないので、いつもはっくんがどのような表情をしているのか見ることができません。また、どこにいるのかわからない事もあります。「come」と呼んで、はっくんがそばに来てもらっているようにですね。だから、私だけじゃなくてはっくんが一緒に来ることを楽しみにしています。

ら、私だけじゃなくてはっくんが一緒に来ることを楽しみにしています。患者さんにもいます。

**堀江**：では、逆に盲導犬との生活で困っていることはありますか？

**河口**：私が住んでいるビルでは盲導犬への理解がとてもあり、住民の方々が自ら進んで盲導犬への正しい触れ合い方などの啓発物を紹介してくださるほどです。しかし、子ども達を中心に、私とはっくんが街を歩いていると、声をかけたり、触つたりする人がいます。これは、悪意のない事なのですが、私達にとっては、困惑する行為であるという事を理解してほしいのです。

**堀江**：そうですね。盲導犬への正しい理解が大切であり、みんなに必要なんですね。他に社会に対して改善を求めていることはありますか？

はありますか？

はありますか？

**河口**：現在、法律によつて公共施設はもちろんレストランをはじめとする店舗などでも、盲導犬の同伴を理由に入店を断つてはならないと定められています。が、それでも私達は気を遣わなくてはなりません。犬が嫌いな人や犬を怖がる子どもがいるかもしれないからです。また、店主が盲導犬の同伴を断つてもペナルティはありません。

その他、仕事の面でも似たような問題があります。最近では障がい者雇用の枠は少しずつではありますが増えてきています。視覚障がい者の受け入れはあっても、盲導犬の受け入れがない事も多いです。もっと盲導犬が受け入れられる体制を整えてほしいと思います。

しと思っています。

**堀江**：こういつた現状は、声を上げてみんなで行政に訴えていかなければ変わっていきませんよね。コンクール表彰式前の貴重な時間にお付き合いいただきありがとうございます。

### 「堀江の感想」

河口さんの最後のお話の中で僕は、僕達がやらなければいけない事がまだまだたくさんあるのだという事を感じた。僕を含め大きな夢と未来へ向かつて進もうとする子ども達にとって誰もが住みやすい社会環境をつくり出す事が最大の課題なのだと思つた。そのためには、僕自身もつと外へと飛び出し色々な人と接し、触れ合いながら話を聞いていきたい。そして、いつか行政にも届くような声を上げられたらと思つた。



はっくん3号

注)「はっくん」は夢みるこども基金のイメージキャラクター。こどもの「夢」と歯の型から生まれました。正式には「はミングはっくん」です。



はっくん1号  
(平成15年11月)引退



はっくん2号  
(平成19年2月)

# 星空の観察や基金の森でのイベントに 歓声と笑顔が広がる

主催：夢みる子ども基金  
後援：福岡県福岡県教育委員会 福岡市教育委員会  
佐賀県 佐賀県教育委員会 佐賀市教育委員会  
唐津市 唐津市教育委員会 佐賀森林管理署など



初体験の蚊帳の中ではしゃぐ子どもたち

「秘密基地が出来た！」  
—佐賀市三瀬村の「夢みる子ども基金の森」に全国各地から集まった子どもたちの声がこだましました。全国の歯科医院のご協力をいただき、今年で18回目を迎えた今年の夢みる子ども基金のイベントは7月28、29日の両日、佐賀市三瀬村と唐津市、福岡市で開催されました。

今年のイベントは「夢と宇宙と森と」をメインテーマに、九州の豊かな自然を舞台に、澄んだ星空のもと広大な宇宙の広がりを実感し、森では都会の子供たちが日頃経験出来ない自然の中での遊びを体験しました。今春の「夢みる子どもキャンペーン」絵画・作文コンクールは応募作2537件から小、中学生58人が入賞。表彰式に引き続き開かれた「子ども会議」では、子供たちの口から宇宙への夢が次々に語られました。



天文学者の指導で星空の観察会

た。昨年来、映画化で再び注目された小惑星探査機「はやぶさ」に加え、少年の宇宙への夢の実現を描いた漫画「宇宙兄弟」のTV化、映画化や、今年相次いだ金環日食、金星食などの天文現象に子供たちの知的関心が大いに高まっていたようでした。一方で、小学生を中心に「基金の森」で様々な遊びがしたい、との希望も時間が足りなくなるほど活発に寄せられたことから、子供たちの希望を叶えたい、と盛りだくさんの内容となりました。

初日は「宇宙」がテーマ。福岡市内のプラネタリウムで夏の星空を「予習」、夜は佐賀市三瀬村で天文学者の案内のもと、参加者全員が大きな望遠鏡で本物の星

空を観測、鮮やかな土星の輪や天の川のきらめきに歓声をあげました。

「森」をテーマとした2日目は佐賀市の養護施設・清光園の子供たち6人と一日「基金の森」で過ごしました。林野庁・佐賀森林管理署による林業教室で森林の果たす役割の大切さを学び、稀少動物である「ヤマネ」の生息状況を昨年、被災地である宮城・女川町の中学生らと設置した巣箱の中を確認することで調べた後、グループに分かれて枝などを使い「秘密基地」作りを競いました。完成後は力作の「基地」内の昼食、石清水で冷やしたスイカ割りを楽しみ、間伐材などを利用して作ったキーホルダーには被災地で頑張っている女川の中学生に向けて、心を込めて応援のメッセージを綴りました。キーホルダーは太宰府天満宮で合格祈願をして高校受験お守りとして女川に贈られます。想いはきりと届くことでしょう。当日は佐賀市街から遠く離れた山中にもかかわらず、NHK佐賀放送局から取材ク



かやぶき屋根のやまびこ交流館

ルーが同行、この模様は同日のニュースで放映されました。

宿泊は同市内三瀬村で古い日本家屋を保存した施設「やまびこ交流館」で蚊帳を吊つての合宿。初めての体験に皆大はしゃぎ。男子は蚊帳の中での大運動会、女子は深夜まで話に夢中で、ひと晩で全国から集まった見知らぬ同士がすっかりお友達になりました。宇宙と森、大自然の中での今回の貴重な経験は、きっと子どもたちの夢を大きくふくらませてくれたに違いありません。

イベント日程  
【7月28日】  
午前 唐津市 虹の松原で松葉掻き  
午後 佐賀市 やまびこ交流館 星の観察会  
【7月29日】  
佐賀市「夢みる子ども基金の森」で  
林業教室・秘密基地作り



## 森の中でクイズや秘密基地作り 施設の「子どもたちも大喜び」

「今から第18回のイベントを開催します！」第18回夢みる子ども基金のイベントは、福岡県横手小学校3年の緒方太郎くんの元気良い開会宣言での幕開けとなった。今年が初めての夢みる子ども基金の森での

夏のイベント開催だ。今回は夢みる子ども基金の参加者が9名と例年に比べて少なかつたが、佐賀・清光園の子どもたちもイベントに加わり、総勢17名での開催となった。



佐賀森林管理署による林業教室

## 耳を澄まして森の声・音・ 生き物の息吹を聞く

### 「林業教室」

今年も佐賀森林管理署による林業教室が開かれた。初めて入る森の土の柔らかさ、子どもたちは歓声をあげた。そして一分間、皆で息をひそめ、森の声・音・生き物の息吹に耳を傾ける。その無数の声に森の中にはたくさん命が宿しているという子どもたちは実に感じたようだった。ビッグリ

ーフ久保基行さんが企画してくれた「ビンゴゲーム」も森ならではの仕様だ。木々にそれぞれの名前を名札として貼っており、ビンゴゲームの紙にも木の名前がずらりと並び、見つけた木を紙にチェックして早く3列そろった子が勝ち、というゲームだ。子どもたちはゲームを通して樹木の名前を学ぶという遊びに魅了されたように夢中になって木を探していた。



ビンゴゲームで木の名前の確認

## 筑波大学とヤマネの合同調査

また、ヤマネ調査も行った。ヤマネは、国の天然記念物で、絶滅危惧種に指定されている。この森にも生息している確率があるという。そこでイベントOGである濱屋江里さんと家族が「ヤマネ」について調べてきてくれ、子どもたちに発表をしてくれた。昨年のイベントで作成した巣箱の中にヤマネの生息の痕跡が残っているかもしれないということで、巣箱調査が行われた。一つ一つ慎重に取り外し、一年ぶりに覗く巣箱に緊張の面持ちの子どもたち。調査の結果、設置した巣箱の約半数にコゲなどが入っていることがわかり、「もしかしたらヤマネが入れた形跡かもしれない」という久保さんたちの言葉に



絶滅危惧種のカマキリ

子供たちから歓声がわいた。この調査結果はヤマネの調査を続けている「筑波大学農林技術センター八ヶ岳演習林の杉山昌典技術専門職員」に送られた。

その結果、ヤマネが生息している可能性が高い事が分かり、夢みる子ども基金と筑波大学が合同で生息調査に乗り出すことになった。10月28日に杉山氏がヤマネ専用の巣箱と赤外線カメラを持って森に入り、基金、佐賀森林管理署、地元ボランティアと巣箱約二百個とカメラの設置をする。そして来年7月末のイベントで巣箱とカメラの点検をしてヤマネの生息が確認されたら基金の子どもたちが記者会見して発表する。学術的にも貴重なものになるかもしれない。



真剣に巣箱の点検



# ユニークな4つの基地が完成

## 「秘密基地作り」

「こども会議にて「森で何をしたいか」の問いかけに「こどもたちはいつせいに声をあげた。「秘密

秘密基地作り!! 今回のイベントの一番の目玉だ。誰にも知られない自分たちだけの空間「秘密基地」。それは昔も今も変わらない子供たちの胸を揺



次々と完成したアイデアいっぱいの秘密基地

き立てる隠れ家だ。事前に準備されたのは、秘密基地作り用の自然に害をなさない材料である。竹、ロープ、再生紙のみだ。あとは場所も基地のデザインも構想も全て子供たちに任せた。4グループに分かれ、それぞれ思い思いの場所に組み立てていく様子はまさに個性があふれていておもしろい。

低学年男子グループはそれぞれが個々に熱中して頭で考えるより先に手が動いている。一人ひとりが秘密基地を組み立てて、後でそれぞれの傑作を組み立てる様子だ。また、女の子グループはデザイン重視の設計から慎重で、話し合いつつ組み立てておりなかなか進まない。

そうして約1時間かけて出来上がった秘密基地は、それぞれのグループの特性が出た斬新なデザインのものばかりで、こどもたちも自分たちの基地を満足げに見上げていた。また、自分たちの手で作り上げた秘密基地で食べるお弁当はやはり一味もふた味もおい

工夫をこらしての秘密基地づくり



しかったよ。その後、毎年恒例となったスイカ割りも皆で大いに盛り上がった。また、このようなこともあった。スイカ割りの途中から雨が降ってきた。ふつうならば、ずぶぬれになる量の雨だったが、森の中になると木々たちがささぎってくれて、かかる量は半分もない。一人の子が言った。「木が守ってくれているみたいだね」都会の中ではこのように感じることもあまりないのではないだろうか。残念ながら、そのあと雷雨となりイベントは早めに切り上げることになったが、森の中ならではの盛りだくさんのイベントは、こどもたちの夏休みの最高の思い出になったにちがいない。

# 女川町の受験生の合格を祈って

## 「キーホルダー作り」

帰りのバスの中では、昨年のイベントに参加してもらった宮城県女川中学校の受験生へのお守り作りに没頭した。生身の木で作成したキーホルダーに「受験頑張ってください」「合格祈願」と皆思い思いの願いを込めてメッセージを書いていた。この木のキーホル

ダーは木々それぞれの香りがある。「サクラ、スギ、ヒノキ匂いでそれらの木を見分ける管理署の方々には脱帽だ。学園の神様・太宰府天満宮(福岡県太宰府市)で願をかけてもらい、現地へ送る。きと、女川の受験生には、九州の地から届く自然香るこの温かいお守りは力になってくれることだろう。



合格を祈って女川町に送るキーホルダー



# 第18回こども宣言

全国のこどもたちが、佐賀県三瀬村の「佐賀県立21世紀の森」と「夢みるこども基金の森」に集い、第18回「夢みるこどもキャンペーン」イベント「夢と宇宙と森と」を開きました。森の中で、スライダ割りやバーベキューをして楽しみ、茅葺き屋根の懐かしさ残る家に泊まって皆で一晩過ごすうちに、初めて会った友達も昔からの友達のように、心が通じ合っていました。

自然の中で過ごした初めての夜。見上げると、宇宙である夜空と森が一つに溶け合っているようにみえました。都会の光の中では気づかなかったことです。私たちの目につる小さな宇宙は、たくさん星の光が降り注ぎ、耳をすますと夜の森に潜む生き物たちの息遣いが聞こえます。人間も動物た

ちも皆で「生きていくこと」を実感しました。また、自然の中には、たくさん遊びが隠れていることに気づきました。空をながめていると、生きて



こども宣言をする光安香穂さん(右)と岩永百花さん

た。みんなで頭をひねってアイデア勝負です。秘密基地をはじめ、たくさん自然を使った工作物が出来上が

りました。2日間にわたって自然と戯れ、きれいな酸素を吸って、夜には満天の星をながめていると、生きていく楽しみが広がります。きつと、それはかつて人類が宇宙に憧れたように、宇宙の中の小さな星に生まれた私たち皆がもっている気持ちなのかもしれません。夜の空に広がる宇宙を見ながら、あの果てには何があるのだろう、という未知への興奮は、私たちの将来の夢に思いを馳せる気持ちと同じものがあります。テレビでみる宇宙飛行士さんが、まさに小さいころからの夢を今から実現する感動と興奮、そしてまた新たな夢を見つけないか、という素直な顔をしています。大人だけれども、子供のような無邪気な顔に見えるのは、きつと初めて宇宙を夢みた子供の頃を思い出しているからかもしれません。このころ、ぼくたちは、私たちの夢はそれぞれ違いますが、きつと皆がいつの日か、満面の笑みで「今、まさに夢を叶えるとき」に、出会えると感じています。そしてその時、今回の「夢みるこどもキャンペーン」で描いた自分たちの小さな夢をきつと思いつくことではないかと、夢を叶えるための私たちがストーリーは、今日がスタート地点です。

そして、最後に、東日本大震災が起きて一年半が経ちます。今回、私たちの「夢」の絵・作文にもたくさん震災の復興への願いが書かれました。今日作成した森の工作物は被災地のこどもたちへ届けられます。遠い東日本のお友達へ一緒に頑張っていこうという思いを込めて、みんなで作りました。復興へは支援の継続が何よりも大切ということを私たちが呼びかけていきたいと思っています。







# 「わたしのかなえたい夢」

## 作文・絵コンクール・最優秀賞

作文の部・最優秀賞



**飯澤 香苗**  
 福島県いわき市立  
 湯本第三中学校二年  
 (入賞当時)

### 「震災から見つけた夢」

私の将来の夢は「心理カウンセラー」になることです。以前は具体的な将来の夢は決まっていみせんでしたが、東日本大震災が起きて、強く思うようになったになりました。

去年の三月十一日に私の町も被災し、ライフラインが断たれれ食料も思うように手に入らない生活を送りました。友人にも全く連絡をとることができず一人でいた。また風呂にも一週間入れなかつたり、トイレも思うように使えない状況でした。その上、福島第

一原子力発電所による事故で放射能の不安から外に出ることができません。私はその頃から少しずつストレスがたまり始め、イライラすることが多くなりました。大変な時にも関わらず、自分の感情をおさえられずに家族にぶつけてしまっていました。

しかし、もし自分がもっと冷静に物事を考えることができたなら、自分と同じように辛い思いをした人を理解してあげられるのではないかと思えました。だから私は、自分のことだけでなく、

なく一人でも多くの人の悩みや不安を理解できる人間になりたいです。日本だけでなく世界の人のためにも役立つよう、精一杯努力したいと考えています。そのためには、色々な勉強をたくさんして相手な、良い人間関係を築いていきたいです。



絵の部・最優秀賞



**緒方 太郎**  
 福岡県福岡市立  
 横手小学校2年  
 (入賞当時)

### 「地球と土星をつなぐ」

大きくなったら、宇宙飛行士になって、いとこのあおいにくんと土星に行ってみよう。

◆第18回 絵の部・入賞者リスト(26名)

	名前	県名	学校	学年	題名
最優秀賞	緒方 太郎	福岡	横手小学校	2年	地球と土星をつなぐ
優秀賞 (3名)	大野 七和	大阪	南住吉小学校	6年	動物園
	井口 紡	福岡	田隈小学校	4年	雲を歩いて妖精と遊ぶ
	平尾 修	福岡	三吉小学校	2年	お城にすむ
特選 (5名)	稲永 光紅	福岡	美和台小学校	4年	なでこジャパンに入りたい
	石部 朝子	福岡	長住小学校	3年	たくさんの人に私の料理を食べてもらいたい
	市丸 結奏	福岡	田隈小学校	4年	宇宙服を着ないで月に行ける未来
	樋口 葵	福岡	黒田小学校	4年	宇宙に電車ができたとき
	中島 染々	茨城	石岡小学校	3年	環境を守りたい
入選 (17名)	関口 幸絵	福岡	東光小学校	3年	画家になりたい
	斉田 響介	福岡	横手小学校	2年	プロのスケートボードの選手になる
	山本 有咲	福岡	城島中学校	2年	バスケの選手になって強いチームに勝つ
	中尾 藍衣	福岡	東光小学校	4年	自分より大きなクリスマスケーキを食べたい
	松永 周大	福岡	城島中学校	2年	戦闘機に乗って空母から飛び立つ
	石田 夏海	鹿児島	星峯小学校	4年	わたしはピアニスト
	山崎 梨乃	福岡	田隈小学校	3年	世界を旅する
	柳 翔斗	福岡	田隈小学校	4年	リフティングが上手になる
	中 二葉	福岡	香椎下原小学校	3年	パレリーナになって舞台上で踊ること
	沖田 陽祐	福岡	高取小学校	3年	鳥と空の旅
	瀬戸 美咲	熊本	水俣第一小学校	3年	保育園の先生になりたい
	佐藤 聡司	大阪	松原中学校	1年	セッション
	清水 達也	大阪	依羅小学校	3年	天体研究所
	西岡 優月	大阪	天美小学校	6年	アーティスト
	赤沢 雄太	大阪	池田小学校	6年	自動車製作
	山道 慎	大阪	松原第六中学校	1年	イルカショー
	浅田 大輝	大阪	依羅小学校	3年	鳥口ボット





# 歯医者さんぼくたち、わたしたちの夢を 応援してくださって「ありがとう」

## こどもたちから歯医者さんへ たくさんの感謝の言葉が届いています



**堤 花音**  
福岡  
平尾小5年

歯医者さん達のあたたかい気持ちのおかげで私たちの大切な森が守られていると思います。この森を未来の子供にも残せて行きたいなと思いました。

ぼくたちは歯医者さんのおかげでこのイベントに参加する事ができました。ありがとうございます。ぼくはこのイベントで、自然かんきょうは大切にしないといけないということを学びました。お仕事ががんばって下さい。

**沖田 陽祐**  
福岡  
高取小4年



**こどもたちへの  
メッセージを!!**

協力歯科医院の先生方からの  
メッセージをお待ちしております。

住所、歯科医院名、氏名を明記し顔写真を添付の上お送りください。

■メッセージの送り先:E-mail:jimukyoku@yumemirukodomo.jp



**岩永 百花**  
福岡  
高宮中1年

私達子供の夢を応援して頂きありがとうございます。歯医者さんの皆さんは少しでも私達の夢が叶えばと思って寄付して下さいののだと思います。だから、これからも1人でも多くの子供達の夢を叶えてあげて下さい。

歯医者さん、いつも基金を支えて下さり、ありがとうございます。みなさんに感謝しています。私たちの夢を応援してくれる歯医者さんはカッコイイです。基金をこれからも支え、お仕事をがんばってください。

**石田 夏海**  
鹿児島  
星峯西小5年



**樋口 晋也**  
福岡  
柳南中2年

歯医者さん「夢みるこども基金」を支えて下さってありがとうございます。これからも子供達のために支えていって下さい。

いつも基金へのご協力ありがとうございます。ぼくは今前歯を矯正中です。おじいちゃんになっても自分の歯で噛んで健康でいたいと思います。

**緒方 太郎**  
福岡  
横手小3年



**岡元 優里愛**  
福岡  
延永小6年

私は「こども会議」をきっかけに夢をもつことのすばらしさを知りました。私は自分の夢は絶対にあきらめず、いつか夢をかなえられるように、これからもがんばっていこうと思います。

歯医者さんは僕達の健康な歯を支えるのに加えて夢も応援してくれていることを基金を通して知り、感謝の気持ちでいっぱいです。

**平良 匠**  
沖縄  
松島中3年



**河添 愛子**  
福岡  
香椎小4年

いつも歯を守ってくれてありがとうございます。盲導犬のかつやくを見て感動しました。これからも基金を応援して下さい。

歯を見てくれてありがとうございます。私はこれからもちゃんと歯をみがこうと思います。

**櫻井 唯千香**  
茨城  
石岡小6年



**田代 つかさ**  
福岡  
愛宕浜小4年

私は小学校3年の時から歯の矯正を始めました。1年しかたってないけど歯並びがきれいです。先生にありがとう言いたいです。

僕も歯医者さんみたいにだれかの役に立てる仕事をしたいです。これからもお仕事頑張ってください。

**松永 周大**  
福岡  
城島中3年



**金井 康祐**  
福岡  
福大大濠中3年

歯医者の方々のご協力により、今年も楽しいイベントができました。ありがとうございます。

私達の夢をいつも応援していただき、ありがとうございます。また今回のイベントに参加して貴重な体験をすることができたことを大変嬉しく思います。これからも被災地の復興に向けて協力していきたいです。

**飯澤 香苗**  
福島  
湯本第三中3年







夢みるこども基金は今年もこどもたちの夢の実現の他に「バングラデシュの「夢みるこども基金」学校などに寄付を贈りました。また、東日本大震災の被災地の宮城県女川町に支援の第2弾としてテント6張りを送りました。女川町から運動会でそのテントを使ったことのお礼と写真が届きました。



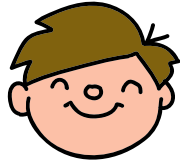
## ■夢みるこども基金 寄付一覧表

寄付金内容	金額	寄付金内容	金額
平成 7年 8月 24時間テレビ愛は地球を救う	300,000	平成18年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	300,006
平成 9年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 7月 江田果瑠奈さん(心臓移植手術)	100,000
平成10年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設費)	2,000,000	平成18年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成10年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成11年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設補助金)	600,000	平成19年 2月 九州盲導犬協会(盲導犬「はっくん2号」)	1,800,000
平成11年 8月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,000	平成19年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	1,000,000
平成11年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成19年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成11年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成19年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成11年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	103,700	平成20年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成12年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成20年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成12年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成20年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成13年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成21年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成13年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成21年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成13年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	2,000,001	平成21年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成14年 3月 日本歯科医師会の8020推進財団	2,000,000	平成22年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成14年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成22年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成14年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成22年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成14年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,116	平成23年 4月 東日本大震災・女川のこどもたちへ(物資送付)	110,677
平成15年 1月 九州盲導犬協会(盲導犬「はっくん1号」)	1,800,000	平成23年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成15年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成23年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成15年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成23年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成15年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	140,411	平成23年10月 宮城県女川教育委員会に支援物資	788,500
平成15年10月 イラク・アジアエキュメニカル奉仕会	300,000	平成23年 末 九州盲導犬協会(盲導犬「はっくん3号」)	1,000,000
平成16年 6月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(ビ-機代20万を含む)	300,119	平成24年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成16年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成24年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	300,000
平成16年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000		
平成17年 1月 新潟県中越地震	3,000,000		
平成17年 4月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	3,000,000		
平成17年 6月 スマトラ沖地震	2,000,000		
平成17年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000		
平成17年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000		
		合計	<b>31,043,530</b>

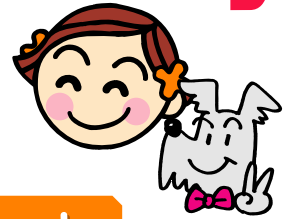
## ■協力歯科医院数(都道府県内訳)平成24年9月13日現在 合計1,109件

県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数
福 岡	267	大 分	34	新 潟	16	香 川	11	山 形	6
東 京	154	長 崎	33	広 島	14	愛 知	11	岐 阜	6
神奈川	53	北海道	32	宮 城	14	岡 山	8	山 梨	4
埼 玉	42	熊 本	27	沖 縄	14	岩 手	8	石 川	4
山 口	41	佐 賀	26	青 森	13	栃 木	8	島 根	4
鹿児島	40	大 阪	22	三 重	12	長 野	8	福 井	4
千 葉	40	福 島	22	茨 城	11	愛 媛	7	徳 島	4
兵 庫	34	宮 崎	19	静 岡	11	群 馬	7	滋 賀	4
								奈 良	4
								京 都	3
								鳥 取	2
								秋 田	2
								高 知	1
								富 山	1
								和歌山	1

# これまでの「夢みる子どもキャンペーン」



## 夢のイベント



第6回

H12.8

### アフリカの大地に根付け 子どもたちの願い

福岡県宇美町の農家で開催。内戦で苦しむアフリカ・スーダンに贈る食物の種子を収穫し、現地へ送った。



第1回

H7.7

### 阿蘇子ども出合いの里

熊本県阿蘇で開催。阪神淡路大震災で両親を亡くした子どもたちを阿蘇に招き、ホームステイ。大自然の中で交流した。



第7回

H13.8

### バリアフリーの社会を作ろう

福岡市で「子どもシンポジウム」を開催。バリアフリーについての子どもたちの意見をまとめ、小泉首相や行政機関に届けた。また、九州盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。



第2回

H8.7

### 阿蘇子どもみどり村

熊本県阿蘇で開催。筋ジストロフィーの少年バンドを招き、アグネス理事とジョイントコンサートをした。



第8回

H14.8

### 世界の子どもたちと交流

福岡市で開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流を行った。食事のチケット代を留学生に寄付。



第3回

H9.7

### 世界の子どもと手をつなごう

福岡市で開催。バングラデシュのカラムディ村から教師ら3人を招き、「夢みる子ども基金学校」の建設資金を贈呈した。



第9回

H15.8

### 日本の心をイラクの 子どもたちへ

福岡市で開催。日本古来の遊具（竹トンボ、コマなど）、パッチワーク、教材費をイラクの子どもたちに贈った。



第4回

H10.7

### 夢の放送局

福岡市で開催。「夢の放送局」を開局して、子どもたちがそれぞれの夢を発信した。「夢みる子ども基金学校」の教材費の募金も。



第10回

H16.8

### 子どもたちが結ぶ10年の夢

福岡市で開催。1回～10回までに参加した子どもたちも加わり、巨大な張り絵を制作。また、九州盲導犬協会へ2頭目の盲導犬の目録を贈呈した。



第5回

H11.8

### ケーキがつなく友情の輪

熊本県南関町で開催。大きなケーキ作りに挑戦。出来上がったケーキを児童養護施設へプレゼントした。第1回のイベントの子ども達も参加。





第15回

H21.8

### 松林の中で環境音楽祭

福岡市と佐賀県唐津市で開催。福岡市中心部の公園などのゴミの清掃後、唐津市・虹ノ松原国有林で「環境音楽祭」を開催。唐津市内の4高校のバンド演奏などで盛り上がった。



第11回

H17.8

### キャンペンのふる里で新潟・山古志、福岡・玄界島の友と交流

地震で被災した新潟と福岡の子どもたちを熊本県阿蘇に招待して交流。ホームステイなどを通じて友情を深めた。



第16回

H22.7.31&.1

### 「夢みる子ども基金の森」開設と「命」をテーマにしたイベント

佐賀県背振山系に「夢みる子ども基金の森」を開設。翌日は福岡市内で「命の現場をみつめて」のテーマでホスピス病棟などの慰問をした。



第12回

H18.7

### いつか笑いがモノを言う～人生は笑顔から～

福岡市で開催。絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。ドイツで心臓移植手術を受ける少女のための募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。



第17回

H23.7

### 東日本大震災と結ぶ絆～子どもシンポジウム～

宮城県女川町の中学生4人と教師を招き、「子どもシンポジウム」を開催。震災への対応や、新エネルギーなどについて話しあい「子ども宣言」として発表した。



第13回

H19.8

### 夢と希望をメロディーに乗せて～子ども音楽祭～

子どもたちの歌の合唱、盲学校生の太鼓演奏、居合道、などで交流を深めた。また、子どもたちとアグネス・チャン理事が福岡県西方沖地震で被災した玄界島も慰問した。



第18回

H24.7

### 夢と宇宙と森と

かやぶき屋根の「やまびこ交流館」で、星の観察会、蚊帳での宿泊を体験。基金の森で林業体験、秘密基地作りを通して自然を学ぶ。



第14回

H20.8

### 地球を守るために『子ども隊』出動

地球環境保護をテーマに「環境子どもサミット」を開き、佐賀県内の国有林に『夢みる子ども基金の森』を開設することや、「環境子ども新聞」の発行を決めた。

## 子どもたちの夢がかなうまで...



3 **子ども会議**

春休みに作文・絵の入賞者を招待し福岡市内で「子ども会議」を開催。夏休みに行う「夢のイベント」を決定



1

**作文・イラストの公募**

毎年、「わたしのかなえたい夢」をテーマに公募。対象は全国の小学生～中学2年生まで



4

**夢のイベント**

夏休みに「子ども会議」のメンバーを招待し、夢を実現させるイベントを開催



2

**審査**

「夢みる子ども基金」理事会・実行委員会にて作文・イラストを審査し入賞者を決定

## 夢みるこども基金学校の現状

今年8月26日〜9月4日  
までバングラデシユと手をつなぐ  
会の15人のメンバーは現地訪問  
を行い、8月30日に夢みるこども  
基金学校を訪問しました。8時  
半に学校の正門で生徒や先生た  
ちの歓迎を受け、職員との顔合わ  
せをしました。朝礼に参列し、手  
をつなぐ会代表の二ノ坂さんより  
夢みる子ども基金主催の作品コ  
ンクールで入賞した5人の生徒  
に表彰状と景品を手渡しました。  
みんなの前で表彰されることはき  
つ子供たちの励みになります。

その後小学校5年生の教室、  
また11時から高校生の教室に入  
り、生徒との意見交換をしまし  
た。生徒は日本に大変関心を持  
っており、日本の教育や社会情勢  
や日米関係などについてたゞさん  
の質問を受けました。一人の生徒  
は「なぜ日本の首相は短期間で



作品コンクールで表彰される生徒

変わるの？」という質問を受け、  
返答に困りました。またもう一人  
の生徒は「どう質問しました。バン  
グラデシユとパキスタンは40年前  
に戦争し独立しました。未だに両  
国の国民は相容れない状態が続  
いています。日本はアメリカと戦  
争し、大変な被害を受けました。  
しかしその後どうして日本とアメ  
リカは仲良くできるの？」人によ  
つて解釈は違います。

こども基金学校には現在約  
1100名(3分の1は女性の  
生徒と40名の教職員・職員がい  
ます。今年高校入学者が大幅に  
増加しました。学校の規模を大き  
くするというよりは今は生徒のレ  
ベルアップを考え、いろいろなプ  
ログラムを組み、生徒たちにチャ  
レンジの機会を提供しています。



白熱したディベート

最近の業績や動向を紹介しま  
す。  
・成績：中学の国家試験で4  
分の3の生徒は5段階評価で最  
高の1を修得しました。  
・数学オリンピックの優勝：バン  
グラデシユをいくつかのブロックに  
分け、定期的に中学生を対象に  
数学の試験が行われています。基  
金学校の生徒は3県の中で最優  
勝しました。  
科学の分野で県代表になり、  
その次の段階で負けてしまったの  
です。

・学業だけでなく、スポーツの  
分野でも確実に実績を伸ばして  
います。サッカーや踊りの分野で  
県代表になりました。昨年夏、私  
たちが現地に行つたときに同窓会  
が行われ、100人以上の卒業  
生が集まりました。中には名門の  
ダツカ大学、医療系の大学や工  
業大学へ進学した学生も多くい  
ることが分かりました。

将来のリーダーを育成するこ  
う目的でディベートクラブが結  
成されました。私たちに彼らの  
ディベートを見せてくれました。  
国会で与野党間の議論を想定  
し、「道路の不整備が交通事故の  
主な原因の1つである」というテ  
ーマで与党は賛成、野党は反対  
の立場をとり、人口増加が原因で  
あると主張しました。それぞれの  
グループは3人ずつの議員で構  
成され(5人は女、1人は男)、

互いに助け合いの姿勢が十分に  
見られました。議長の指導で議論  
が進行し、4人の審判と2人のタ  
イムキーパーがそれぞれ厳しく役  
割を果たしました。結果は野党が  
勝ち取つたのです。両グループは  
自分たちの意見を正当化するた  
めに様々な資料を用意し、迫力の  
ある議論に観客が圧倒されまし  
た。

基金学校は今県内外でモデ  
ル校になり、9月初めに100キ  
ロ離れた所から先生や保護者が  
見学に来たと聞いています。  
しかし生徒増加によつて深刻  
な問題も発生しています。教室が  
足りなくなつていきます。図書館や  
実験室、料理教室、パソコン室、  
食堂も建設しなければなりません。  
1000人以上の生徒や職  
員がいる学校で体調不良で少  
休む人が出てくるのは自然であ  
ります。また青春期のこども達は  
いろんな事で悩むこともあります。  
そのため保健室も必要です。  
これらの事を一つ一つ解決して  
いきたいですが、自分たちの力だ  
けでは不十分です。これからも貴  
基金のご協力が欠かせないもので  
す。今まで通りにこれからもご協  
力お願いします。

夢みるこども基金学校  
日本側の責任者  
コフマン・モクレスル

## 15年間の事業は終了 代わりに300万円の基金設立

謹啓 秋九月、心地よい季節  
を迎えました。澄み切った空、稲  
穂、ススキ、桔梗、梨柿、秋刀魚  
、其々に思いを馳せ、目的の為にい  
ろんな体験をすることでしょう。

さて、1998年ネパールの  
貧しい子供達の教育環境の確保  
の為に発足し、15年に亘り活動を  
続けて参りました。本事業の目的  
は村人の経済自立、即ち、貧しさ  
からの脱却でした。1999年7  
月17日にニルマルボカリ村の  
NGO学校運営委員会(SMC)  
と小学校建設と10年間の運営資  
金援助の約束を締結し、119  
名の入学生を受け入れてスター  
ト致しました。

その後、時間の経過に比例し  
こども達は学力を身につけ心身  
ともに健全に成長致しました。こ  
ども達の向学心とSMCの努力の  
結果として、現在、幼稚園2クラ  
ス、小学校5クラス、中学校3ク  
ラス、高校2クラスの計12クラス  
を収容する立派な学校施設が完  
成し、村のシンボルとして威容を  
示しています。現在の学生数も  
344名となり、地域での学業  
成績は継続してトップを保って  
いるところです。このインフラ整備  
と学校運営に関しては継続的な  
資金援助のみならず、モチベーシ  
ョンの持続が求められましたが、幸  
いにして貴基金を始め、多くの有  
志の方々の協力を賜り実現さ  
れたものと認識しております。

本来10年間に完了する苦  
の本事業は、不本意ながら「SM  
C」が完全な自立の領域に到達せ  
ず、現在も年間30万円を奨学金  
支援として続けております。その  
5年間という約束も本年度で終  
了しますが、当面の予想として  
いた経済的な問題は解決の目処  
も立たない状況です。その為に以  
後の経済支援はしないことを条  
件にネパール教育基金として  
300万円を準備すること致  
しました。ネパールの現時点で  
高金利を背景に早い時期に学校  
運営が軌道に乗るように見守り  
たく思っています。

今後はコーヒー栽培農家への  
技術指導を第一の事業目的と致  
し、適任者にバトンを渡す所存で  
ございます。  
長年のご厚意に深甚より感謝  
申し上げますとともに、貴基金の  
益々の発展を心より祈念申し  
上げます。  
NPO法人福岡・  
ネパール児童教育振興会  
理事長 篠隈 光彦



# 夢みるこどもキャンペーン・協力歯科医院申込FAX用紙

右のキリトリ線から切り取り、FAXにてご送信くださいますようお願い致します。

住 所	郵便番号	〒
	都道府県	
	市区郡町名番地	
	マンション名 ビル名	
医 院 名		(ふりがな)
院 長 名		(ふりがな)
TEL	(      )	—
FAX	(      )	—
*通信欄(ご意見・要望などありましたら記入ください)		

✂  
キリトリ線

\*お申込みをいただきましたら、事務局から待合室に貼るポスター、回収箱などをお送り致します。

\*定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。

\*金属をお送りいただく際は、集荷フリーダイヤル(ゆうパック)【0800-0800-111】にお電話いただき“基金着払い”でお送り下さい。

\*登録費、年会費はございません。

「基金の流れ」は背表紙に掲載しております。  
「夢みるこどもキャンペーン」の活動については下記ホームページをご覧ください。  
URL : <http://www.yumemirukodomo.jp>



お申し込みFAX番号

**FAX092-751-0249**

※右のキリトリ線から切り取りFAXをお流し下さい。

# 植木とみ子、中原淳一両氏が常任理事に就任

夢みる子ども基金の平成24年度定期理事会が5月15日、福岡市中央区の福岡ビル9階ホールで開かれました。

八尋晋策理事長が「基金は19年目に入り、感慨深いものがあります。一番印象深いのはバングラデシュの夢みる子ども基金学校です。基金からの寄付は1000万円を超えており、とても優秀な学校に成長しました。基金運営は3人の歯科医師による妨害で金属回収が減り、一昨年と昨年は積立金を取り崩しており、今年度も緊縮財政でいきたいと思

います。」と挨拶しました。議事の第一部は役員改選で始まり、常任理事の新任に植木とみ子氏(元福岡市教育長)、中原淳一氏(JR東海・次長)、常任理事の再任に古川洋氏(福岡放送顧問)、理事の再任に藤芳素生氏(元国土交通省近畿整備局長)、横島庄治氏(NPO法人環境システム研究会理事長、元NHK解説委員)を、常任理事兼事務局長に古市悟氏(元スポーツ報知取締役編集部長)をそれぞれ選任する人事案件が承認されました。

実行委員は別掲の通り6人の再任と3人の退任が承認されました。古市事務局長から平成23年度の活動報告と補綴金属回収報告がありました。補綴金属の回収は河原英雄氏らの基金への妨害が始まった平成16年度をピークに回収件数は落ち込んでいたが、19年度からは横ばいになりました。平成23年度は回収210件、重量66.355gで前年

度には比べ回収件数はマイナス18件だったが、重量は7.199g減りました。議事の2部では平成23年度の会計決算について、吉田雅俊顧問税理士が収支報告書と貸借対照表に基づいて説明をし、木村友則監事が「監査の結果適正である」との監査報告をしました。

続いて古市事務局長が平成24年度の事業計画について、吉田顧問税理士が同予算案について説明しました。この中で古市事務局長は「環境ことも新聞」は年4回発行したが、1回の発行に250万円位かかるので回数を2回位に減らしたい、と述べました。

協力歯科医院の開拓については理事の間から「基金活動を常に外へ向かって発信しないといけない」「加入して頂いた歯科

医院に入会の動機などのリサーチも必要だ」「今の歯医者さんはホームペー

ジを持っている所が多いので、これも新聞や基金だ

よりの印刷代、送料を節約するために、ネットを通

してのアプローチを検討することも必要ではない

か」などの意見が出ました。

基金が毎年、寄付を

続けて来た3団体の寄付は、基金財政が苦しく

なっているため、ネパール歯科医療協力会へ

は今年度は寄付を見合

わせ、バングラデシュの「夢みる子ども基金学校」へ

30万円、福岡ネパール児童教育振興会に10万円

を寄付することの提案があり、承認されました。

この中で「夢みる子ども基金学校」についての援助について各理事から

様々な意見が出ました。「いつまでテコ入れをしな

ければならないのか」「立ち上げの手助けをして、

ある程度したら自立して

もらうのが正しいボラン

ティアの仕方ではないか

と思う」「ここまで成長したのだからこれまで通り

援助を続けた方がいい」「今後は金銭面だけの

援助でなく人的交流を持たせたりするのはどうか」など。この日は結論は

出さなかったが、理事会で今後、検討して行くことになりました。

夏イベントは、毎年前夜祭でも達が訪れている「夢みる子ども基金の森」が好評で「この森で」と楽しみたいとの声が多く、「この会議」では、今年はこの森を主会場に「夢と宇宙と森」とのタイトルでイベントを開くことが決まりました。森

の中でイベントに星空の観察なども加えたものにする計画が発表されました。また佐賀市内の福祉施設のこともたちにも加

わつてもらったことなどについて古市事務局長から

説明がありました。

最後に民事訴訟の経過報告と今後の基金運

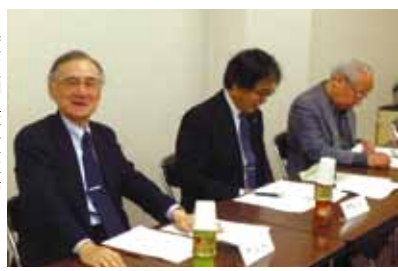
営についての話し合いがあり、全国のこともちが

楽しんでしているこのキャンペーンをできるだけ長

く続けて行くことを誓

い、理事会は終了しまし

た。



基金定期理事会、左端は山田英夫理事(元日本通運副社長)

## 人事 ※敬称略

### 【常任理事】

#### ◆新任

- ▽植木 とみ子(フリースクールNPO法人ユータラスクール夢理事長、元福岡市教育長)
- ▽中原 淳一(JR東海・次長、春日部高校評議員・同PTA副会長)

#### ◆再任

- ▽古川 洋((株)福岡放送顧問)

### 【理事】

#### ◆再任

- ▽藤芳 素生(NPO法人日本水フォーラム監事 元国土交通省近畿地方整備局長)
- ▽横島 庄治(NPO法人環境システム研究会理事長 元NHK解説委員)

### 【実行委員】

#### ◆再任

- ▽川越 文雄((株)福岡放送経営戦略局長)

- ▽長尾 怜美(夢みる子ども基金OB・OG会会長、九州歯科大学小児歯科分野大学院3年次生)

- ▽藤井 隆行((株)福岡放送制作局エグゼクティブプロデューサー)

- ▽伊藤 実喜(医師)
- ▽川合 次郎(福岡放送総務局長)
- ▽後藤 直弘(元読売新聞西部本社写真部課長)

#### ◆退任

- ▽今田 賢治(元福岡県歯科医師会事務局長)
- ▽金子 力(T&A代表取締役)
- ▽中川 龍比湖(元福岡県歯科医師会常務理事)

### 【事務局長】

#### ◆再任

- ▽古市 悟(前記)



# 民事訴訟は「引き分け」判決

## 「基金運営に不正はなかった」と認定

### 双方とも控訴へ

夢みることも基金が河原英雄・元日本顎咬合学会理事長ら3人の歯科医を相手取り総額3884万円余の損害賠償を求め、河原氏側も基金の中村直理事長代行、古市悟事務局長に損害賠償を求めていた民事訴訟の判決は8月23日福岡地裁でありました。池田聡介裁判官は「1.原告らの請求、被告らの請求をいずれも棄却する。2.訴訟費用は各自の負担とする」判決主文との判決を言い渡しました。

裁判官は判決文の中で、今回の訴訟の大きな争点である被告・河原氏らが「基金に数億円の使途不明金がある」としていたことについて、「基金の運営には河原氏らが指摘したような不正などはなかった」と退けました。

そして河原氏らの言動について以下のような問題点を指摘しました。

- ①補綴金属の回収・管理や会計面に疑問を抱かせた言動を取った。
- ②基金が極めて大きな問題を抱えており、大きな社会問題や歯科医師会のスキャンダルに発展する

可能性があると指摘した。

- ③古市事務局長に辞任に値する不適切な事務処理があることを示唆し、預金管理や回収補綴金属に係わる会計は怪しいと指摘した。
- ④売却待ち金属の売却とリサイクル益金の増加の関係を疑問があるなどとして経理処理に問題があることを示唆した。
- ⑤河原氏らが行った補綴金属回収のシミュレーションと基金発表のリサイクル益金と億単位で異なる、と指摘した。
- ⑥基金の運営、経理処理等に不審な点や疑問

点が次々に浮上し、数億円の不明金があることを示唆した。

⑦古市事務局長と基金の理事長代行らの「相関図」を描き、古市事務局長の横に札束が描かれ、河原氏らが金銭や古市事務局長に関する情報の開示を求めも応じないと主張し、古市事務局長に金銭に関し、やましい点があるような印象を与えている。

裁判官は判決文の中でこれらの言動はすべて「原告基金の名誉や信用を毀損するものといえる」と基金の主張を認めています。

一方、河原氏らは「自

分たちは基金だよりなどで犯人扱いされたという主張をしていましたが、判決文はこれについても古市事務局長らが基金だよりなどで実態を説明したことは正当な利益(業務及び信用・名誉など)を守るための防衛手段で違法性はないとしています。

しかし、河原氏らが主張した一部については「真

実と信じている」として相当性が認められる」としています。このため裁判官は結論として、基金が主張した「河原氏らの言動によ

て金属回収の減少につながった」ことは認めず、基金側の賠償請求は認めませんでした。河原氏らの請求も認めませんでした。

基金、河原氏側ともこの判決を不服として福岡高裁に控訴しました。訴訟は舞台を高裁に移して審理が始まります。

### 今回の民事訴訟判決に対する基金のコメント

判決は双方棄却となりましたが、裁判官は判決文の中で基金の運営には河原英雄氏らが指摘したような不正などはなかったことを認めました。不確かな情報を受け、誤解した協力病院が金属冠の寄付を辞退したことなどにより被った損害の賠償請求を認められませんでした。今回の訴えの主たる目的は基金の名誉回復であることから、実質的に「勝訴判決」である

と受け止めております。

双方とも控訴しましたが、いずれにしましても、「基金に不正がなかった」という一審判決で、基金の信用は回復するべきであったと思います。「夢みる」を育み、実現するという基金の理念に基づき、今後も活動を続けていく所存です。皆様のご理解とご支援をお願い致します。

夢みることも基金  
理事長 八尋 晋策

#### 民事訴訟の判決に至るまでの経緯

(訴訟の発端)

平成16年11月、河原英雄・元日本顎咬合学会理事長らから基金に対し「日本歯科医師会は自民党旧橋本派への1億円献金事件で大きなダメージを受けている。歯科医療界を救うために基金の全財産(9000万円)を新潟中越地震の被災者に拠出して欲しい。これに歯科関係出版社の社長が1000万円を寄付するので献金問題の1億円を消すことになる」と言って来ました。

(判決までの経緯)

▽平成16年12月 基金は理事会を開き、「献金問題の悪いイメージを消すために、基金の金を出せと言うのは発想が貧困で取り合えない」「全財産を拠出すると基金は存続の危機に瀕する」と拒否。基金独自の判断で300万円を寄付しました。

▽平成17年2月 自分たちの要望が拒否された河原氏らは「基金の経理・運営に疑惑や不正がある」と騒ぎ出し、各方面に基金に数億円の使途不明金があるなどと、疑惑・不正があるような内容の文書を配付したり、集会などを開いて騒ぎを続けました。

▽平成17年7月 騒ぎはエスカレートし、「基金は厚生省(当時)の後援も取っていないのに、ウソをついてキャンペーンをしている」などと事実と異なることを並べ立てるため、基金の顧問弁護士名で河原氏ら

に対し、「真実と異なる事実を提示して基金ならびにその運営に当たる理事各位の名誉を毀損したり、基金の業務を妨げることは法律に抵触処罰の対象となり、損害賠償を命じられることがあります」との警告文を出しました。厚生省の後援についても当時の厚生事務次官名の後援承諾の公文書も示しました。

▽平成19年4月 河原氏らの騒ぎはいっこうに収まらないため、基金は河原氏ら3人を福岡地裁に対し、業務妨害と名誉毀損容疑で告訴しました。

▽平成19年12月 河原氏ら3人を相手取り、総額3884万円余の賠償を求め民事訴訟も福岡地裁に提訴しました。

▽平成20年5月 刑事告訴は不起訴になりました。河原氏らも基金に刑事告訴された約半年後に基金の中村直理事長代行と古市悟事務局長らを「基金が発行する基金だよりで犯人扱いされた」として名誉毀損で告訴して来ましたが、不起訴になりました。

また、民事訴訟でも基金から訴えられた半年後に、中村理事長代行と古市悟事務局長を相手取り訴訟を起こして来ましたが、基金の訴訟と併せて福岡地裁で審理が進められ、計32回の口頭弁論が開かれました。

▽平成23年11月28日結審しました。  
▽平成24年8月23日判決言い渡し。  
▽双方とも控訴しました。

# 基金の流れ

「金属冠」は換金され  
こどもたちの夢の支援に  
役立てられます。



患者様同意のもと提供された金属冠

歯科医院など



無料で引取・配送



個人の方



ご自宅にある不要な金属冠

夢みるこども基金  
事務局

金属塊に再生→換金

換金された  
リサイクル益金  
が役に立てられます。



こどもたち

## 業者に委託しての回収はしていません

夢みるこども基金は金属冠の回収を正確、クリアするために、金属冠は基金に直接送っていただいています。これまで、一部の金属業者が「基金と提携している」「業者から基金に送る」などとウソをついて、金属冠を持ち去るケースがありましたのでご注意ください。

また、基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送っていただいた歯科医院等については、その都度受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応できるようになっていますのでご連絡ください。

## 10月と11月は金属冠定期回収月間です

### ●ご入会について

協力歯科医院のお申し込みは随時受け付けています。13頁の申込用紙を切り取り、FAXにて送信してください。登録費、年会費はございません。ご入会いただくと、直ちにポスター、木箱、内ボトル2個をお送りします。内ボトルに金属冠をためていただき、基金事務局までお送りください。

### ●金属冠は随時受付中

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に10月と11月を強化月間としています。少量しかたまっていても構いませんので、集荷フリーダイヤル(ゆうパック ☎0800-0800-111)へ電話し、《基金着払い》でお送りください。直接基金事務局(☎092-751-0021)へ電話されても結構です。

金属冠集荷フリーダイヤル

ゆうパック ☎0800-0800-111

## 編集後記

### 裁判とイベントへの思い

裁判とはこんなにも長い時間と手間がかかるものだろうか。夢みるこども基金が河原英雄氏ら3人を相手取った訴訟は河原氏側の応訴も含め、8月23日に判決が言い渡されました。

勝訴を信じていましたので、「双方の訴えを棄却する」との引き分け判決にはがっかりしました。しかし、河原氏らが「基金には数億円の使途不明金がある」などと主張したことに対しては裁判官は「基金には不正はなかった」と明確に否定しました。

河原氏らが「基金に不正がある」と騒ぎ出してから7年9カ月、基金が民事訴訟を起してからでも4年8カ月。長い長い時間が過ぎました。理事の間でも「判決には納得できない」「もう終わりにしたら」などの意見がありました。私もこの8年間の大部分を裁判に費やし、基金活動が十分に出来ませんでした。人の命には限りがあります。今も「こんなことをしているのか」という疑問と空しさを感じます。

しかし、相手も控訴して来たので、福岡高裁で決着をつけることになりました。係争中ですので、裁判の方はこれ位にします。

今年のイベントは参加した子供たちも私たちスタッフもとても満足感がありました。まず前夜祭

の宿を、これまでのホテルからかやぶき屋根の旧民家に移したのが1つ。カヤを吊るしての合宿が子供たちに受けたようです。そしてイベント本番は夢みるこども基金の森。この基金の森ではここ数年、前夜祭で2〜3時間経過していました。あの日すばらしい森でゆつくりしたい。このこどもたちの声が多かったため、今年はこの主会場にしました。イベントの内容は前ページで書いてますので省きますが、地元の施設のこともちが参加してくれたのも初めてでした。

理事を始め、関係者の間でも「基金の内輪のイベントになつてはいけない」との声もありましたので、施設のこともちが、基金のこどもたちと森の中で笑い、語り、歓声を上げていた姿を見、イベントの新たな手応えを感じました。

そしてこの場に基金を支えて下さっている歯科医師の先生たちが加わって頂くことも楽しいイベントになる、との思いを強くしました。皆様のご協力、ご支援がある限り、私たちはこのイベントを長く続けて行く心算ですので歯科医師の先生方のご参加をよろしくお願い致します。いつもありがとうございます。

常任理事・事務局長

古市 悟



発行 夢みるこども基金事務局

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>

〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-6-2F

☎092-751-0021 FAX 092-751-0249

E-mail: [jimukyoku@yumemirukodomo.jp](mailto:jimukyoku@yumemirukodomo.jp)